

環境（E）

マテリアリティ		目標 KGI (2029年度)	指標 KPI (2026年度)	2024年度	
大分類	中分類			実績・進捗率	取り組み状況
省エネ、創エネ、蓄エネに貢献する製品の供給	安定供給体制の確立	米子工場における、新抄紙機稼働および裁断工程の体制確立	・高付加価値セパレータの生産能力倍増 ・製品出荷までの各工程（抄紙～裁断～出荷）の完結	－	米子工場の新抄紙機は2024年10月に竣工し、安定生産に向けた取り組みを実施しています。裁断工程は2025年1月から出荷を開始しました。
		事業所・拠点別在庫の最適化	在庫拠点の分散化	－	物流等BCMを含めた安定供給を見据えて、本州在庫の確保などの在庫拠点の分散化を計画的に行っています。
		安定、継続的な原材料の確保	安定的な原料調達の実現	－	事業の継続に不可欠となる原料の適正数量を確保するとともに、安定調達を実現するために、原料購入先の複線化や供給契約の締結などの施策に取り組み、計画どおり進捗しています。
	最終商品の付加価値を高めるセパレータの開発・供給	最終商品の付加価値を高めるセパレータの積極的な開発・提案	高機能セパレータの新規提案	－	省エネ、創エネ、蓄エネへ貢献する製品を供給するために、自動車やAIサーバー、各種蓄電デバイスなどの成長分野における4つの重点製品（リチウムイオン電池、電気二重層キャパシタ、導電性高分子固体コンデンサ、ハイブリッドコンデンサ用の各セパレータ）について、積極的な新製品の開発と顧客への新規提案に取り組んでいます。
気候変動への対応	CO2排出量の削減	カーボン・オフセットを含めたCO2排出量の削減（Scope1+2）2013年度比46％削減	・エネルギー原単位削減率 2020年度比10％削減 ・環境にやさしい設備等の導入の進捗率	・Scope1+2 2013年度比32.8％削減 ・エネルギー原単位削減率 2020年度比1.4％増加	Scope1+2では、太陽光発電の導入拡大や省エネルギーを目的とした設備の改善などを実施しています。 エネルギー原単位は、米子工場への新マシン設立などの取り組みのため、一時的に増加していますが、今後も目標を変更することなく取り組んでいきます。
			社有林の間伐計画進捗率 100％	社有林の間伐計画進捗率 47％	社有林の間伐を行うことでCO2吸収量（J-クレジット）を創出し、カーボン・オフセットをおこなう計画です。 間伐は計画どおり進捗しています。
生物多様性への配慮	持続可能な森林経営	水源かん養機能の拡大、維持・改善	水源かん養を行う森林面積の拡大	－	水源かん養を行う森林面積の拡大を指標に追加設定し、活動を開始しました。
			ほ乳類および鳥類の種類、希少種数の把握	－	2024年度は、希少種が19種（ほ乳類3種、鳥類15種、植物1種）確認されました。 鳥類では県指定天然記念物である「ヤイロチョウ」、植物では絶滅危惧II類の「アズキナシ」が新たに確認されました。
		各事業所水源域における森林保全および地域との交流促進	各自治体との協定の維持継続	－	鳥取県および伯耆町との「森林保全・管理協定」は3年目になりました。定期的に森林保全活動を行なっています。
環境負荷の低減	・排水、排気中の環境負荷物質の極少化 ・水資源の効率的な利用、使用量の削減	環境規制値を上回る環境負荷物質の不排出	排出量基準超過件数 ゼロ件	排出量基準超過件数 ゼロ件	排水、排気については、法令を上回る自主基準・管理基準値を設定し、維持管理しています。
		工程改善による水利用量 2022年度比10％削減	取水原単位の削減率 2022年度比10％削減	取水原単位の削減率 2022年度比0.2％増加	取水原単位は、米子工場への新マシン設立などの取り組みのため、一時的に増加していますが、今後も目標を変更することなく取り組んでいきます。
	廃棄物の削減		水のリサイクル率 2020年度比5％向上	水のリサイクル率 2020年度比1.2％向上	水のリサイクル率は、取り組みの結果、順調に推移しています。
		廃棄物排出量 2022年度比10％削減	製紙スラッジ原単位削減率 2022年度比10％削減	製紙スラッジ原単位削減率 2022年度比2.8％削減	製紙工程で排出されるスラッジの削減を目指して、原料回収率の向上などの施策を実行しています。 目標に向けて順調に推移しています。

社会（S）

マテリアリティ		目標 KGI (2029年度)	指標 KPI (2026年度)	2024年度	
大分類	中分類			実績・進捗率	取り組み状況
人的資本の強化	労働安全・衛生の確保	労働災害の撲滅	重大労働災害発生件数 ゼロ件	重大労働災害発生件数 ゼロ件	各職場のバトリールリスクアセスメント実施などによる危険箇所への安全対策の結果、2024年度は労働災害発生ゼロ件を達成しました。
			労働災害度数率 1.3以下	労働災害度数率 ゼロ	
		心とからだの健康確保	健康経営優良法人ホワイト500 認定	・健康経営銘柄2025選定 ・健康経営優良法人ホワイト500 2025認定	継続的な安全衛生、メンタルヘルス活動に加え、従業員の健康課題を踏まえた具体的な数値目標に向けての取組み等が総合的に評価をいただき、4回目の「健康経営銘柄2025」に選定されました。 また、「健康経営優良法人 ホワイト500」にも7年連続で認定されました。
	・人材の育成 ・ダイバーシティー & インクルージョンの推進	リーダー人材の育成	教育研修受講率 100％	教育研修受講率 100％	短期・中期・長期的な視点で各施策を定めて、リーダー人材の育成を行っています。
		女性の活躍推進	正社員に占める女性の割合 10％	正社員に占める女性の割合 7.3％	多様な人材の活躍を目指して、社内啓蒙活動、職場の拡大、人事労務制度・職場の整備などを行っています。 2024年度は、子育て中の部下を持つ管理職のためのイクボス研修や女性部下マネジメント研修等を実施しました。
			管理監督職に占める女性の割合 10％	管理監督職に占める女性の割合 6.0％	
環境・社会に配慮した調達	「購買方針」および「グリーン調達基準」の運用強化	「購買方針」および「グリーン調達基準」を全てのサプライヤーに周知・理解頂き、その内容に準拠した材料を調達する	「購買方針」および「グリーン調達基準」を盛り込んだサプライヤー向け調査の実施および同基準の遵守率	「購買方針」および「グリーン調達基準」を盛り込んだサプライヤー向け調査の実施	「労働」「安全衛生」「環境」「倫理」および「温室効果ガス削減目標設定」などの内容についてサプライヤー向けCSR調査を実施し、分析しています。
				サプライヤーのCSR調査ランク「A」比率 90％ ※ランク「A」…CSR調査項目の取組み率80％以上	
地域社会との共生と貢献	事業所が立地する地域コミュニティとの関係維持および地域発展への貢献	地域美化活動等の地域社会への貢献活動の推進	事業所周辺地域の美化活動回数	事業所周辺地域の美化活動回数 9回	当社従業員が事業所周辺地域の美化活動に参加しています。
		スポーツ、教育、文化貢献活動の推進	スポーツ、教育、文化活動回数	スポーツ、教育、文化活動回数 14回	高知龍馬マラソンのオフィシャルパートナーとしての協賛や学校・各種イベントでの講演などの活動を継続実施しています。 2024年度は、高知ユナイテッドスポーツクラブのクラブパートナー、鳥取県立美術館のオフィシャルパートナーとしての活動支援を開始しました。

ガバナンス（G）

マテリアリティ		目標 KGI (2029年度)	指標 KPI (2026年度)	2024年度	
大分類	中分類			実績・進捗率	取り組み状況
ガバナンス強化	・コーポレートガバナンス・コードへの対応 ・コンプライアンスの推進	コーポレートガバナンス体制および内部統制システムの構築・運営	取締役会出席率	取締役会出席率 99％	ガバナンスの強化に向けて、取締役会や各種社内会議を計画的に開催し、方針・計画の決定や実効性の検証等を行っています。
			経営会議開催回数	経営会議開催回数 19回	
			サステナビリティ委員会開催回数	サステナビリティ委員会開催回数 6回	サステナビリティ委員会では、2024年度はESGマテリアリティの目標・指標に対する進捗確認や具体的な施策について議論をしました。
	BCMの推進	事業継続計画の継続的な見直し	BCM推進会議開催回数	BCM推進会議開催回数 4回	BCMの推進・強化に向け、四半期ごとに、災害時従業員の安全確保、復旧体制・製品供給体制の確保等について議論・検討しています。 2024年度は、地震発生時の初動対応体制の確立に注力して議論しました。